

## 〔8〕耐食一覧表

当社耐食性樹脂全グレードを対象に耐薬品性と最高使用温度の一覧表を記しました。実際に使用される場合は、使用樹脂の選定等について当社営業部にお問い合わせ下さい。又、耐食性は硬化触媒、促進剤の使用量、硬化時間、硬化温度、FRP構成等にも影響を受けるのでご注意下さい。又、耐食FRPは本手引きの概説・図-1に示す通り薬液種によりFRPから抽出・溶出現象があるため、内容液の純度を重視される場合には品質を損なう可能性があります。その他、混合薬液・混合廃液の場合、最高使用温度が40°C以下の薬液の場合、実使用温度が本一覧表の温度に近接の場合には、実際に施工する条件で試験片を作製し、浸漬試験を実施した上でご使用されることをおすすめします。

当社の耐食FRPの判定は、6ヶ月浸漬後の曲げ強さ、曲げ弾性率、バーコル硬度の各保持率が50～60%以上で、その後の浸漬によっても各保持率がそれ以上低下せず、さらに外観検査で大きな劣化が見られないかどうかで判断しています。この試験方法では、特に外観の状態が実際の使用に当たって重要な判定基準となります。

尚、本一覧表は、当社耐食試験方法における耐食試験結果、及び注型品の耐食試験結果、実績、社内試験結果等に基づいて記しており、保証値ではありません。

【註】この表には代表的な樹脂名・薬液名を記しましたので、もし記載されていない樹脂名・薬液名がありましたらお問い合わせ下さい。

VE:ビニルエスチル樹脂 UPE:不飽和ポリエスチル樹脂

薬液	濃度 (%)	最高使用温度 (°C)						
		ビス系 VE	ノボラック系 VE	変性 ノボラック系 VE	臭素化 ビス系 VE	ヘット酸系 UPE	ビス系 UPE	イソ系 UPE
リボキシ <sup>®</sup> R-802 R-804 R-806 R-807		リボキシ <sup>®</sup> H-600	リボキシ <sup>®</sup> H-630 H-610	リボキシ <sup>®</sup> S-510	リゴラック <sup>®</sup> H-297	リゴラック <sup>®</sup> LP-1BQ	リゴラック <sup>®</sup> 150HR	
【あ】								
亜塩素酸ナトリウム **	10	80	80	80	60	80	70	—
	50	60	60	60	40	60	40	—
亜鉛メッキ液 (シアノ化亜鉛9%、シアノ化ナトリウム4%、苛性ソーダ9%)		60	—	80	80	NR	—	NR
アクリルアミド	50	30	40	40	30	30	—	—
アクリルエマルジョン	50	50	50	50	50	50	50	—
アクリル酸	10	40	50	40	40	40	30	25
	25	40	50	40	40	40	30	25
	100	NR	25	NR	NR	NR	NR	NR
アクリル酸エチル	100	NR	NR	NR	NR	—	NR	NR
アクリル酸ブチル	100	NR	30	30	NR	—	NR	NR
アクリロニトリル (ラテックス)	2	25	30	25	25	—	NR	NR
アクリロニトリル	100	NR	NR	NR	NR	NR	NR	NR
麻油	100	100	110	100	—	—	80	—
亜硝酸ナトリウム	ALL	98	98	98	98	80	80	60
アジピン酸	23	80	80	80	80	—	—	—
アセトアルデヒド	100	NR	25	NR	NR	NR	NR	NR
アセトニトリル	100	NR	NR	NR	NR	NR	NR	NR
アセトフェノン	100	NR	NR	NR	NR	30	NR	NR